



大学女子テニス選手における アンフォースドエラーに関する研究 - 選手と指導者の原因の差異について -

平田大輔^{1,5} 佐藤周平² 村上貴聡³ 森井大治⁴ 柴原健太郎⁵ 三橋大輔⁶ 佐藤淳一⁷ 佐藤雅幸¹ 西條修光⁴
¹専修大学 ²仙台大学 ³東京理科大学 ⁴日本体育大学 ⁵日本体育大学大学院 ⁶筑波大学 ⁷東洋学園大学

はじめに

テニスにおけるエラーにはアンフォースドエラー（以下、UE）とフォースドエラーがあり、前者は主導権を握っているプレーヤーがショットの選択肢もあり、時間的余裕もある状況で引き起こすエラー、後者は相手の打球の威力があり、準備する時間的な余裕が無い状況でのエラーである。テニスの指導においてUEを減らすことは試合に勝利する上で重要な要因となっている。平田ら（2011）によると大学女子テニス選手のUEの原因を分析したところ、状況把握、考え判断する、感情・気分、動作がUEの原因となっていると述べている。このようにUEの原因は様々であり、選手と指導者の考えているUEの原因を知ることは指導にとって有効な情報になると考えられる。そこで本研究では女子テニス選手とそれを指導している指導者のUEの原因について質問紙調査からどのような差異がみられるかを明らかにすることを目的とした。

方法

対象は高校、大学に所属している女子テニス選手とその指導者とした（表1）。UEの質問紙は平田ら（2011, 2014, 2015）、柴原ら（2015）を参考に状況判断過程、技術的・心理的な問題に関する47項目からなる質問紙を作成した。各項目の回答は選手はUEに対して普段どのように思っているか、指導者は普段、指導している選手に対してどのように思っているかについて回答してもらった。回答方法は「1.ほとんどそうでない」から「5.いつもそうである」の5段階である。

分析は、高校、大学とも選手の競技レベルごとに、指導者は指導している選手の競技レベルごとに各項目において得点の高かった項目と低かった項目をに分けて分析した。

表1 対象者の内訳

	高校生	大学生	指導者	
			男	女
人数	74	263	33	10
年齢(歳)	18.8±2.4		42.6±12.6	
競技歴(年)	10.0±3.8		30.4±13.3	
指導歴(年)			16.4±10.5	

表2 競技レベルごとの質問項目得点(高校生)

全国大会(n=11)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
攻め急いだ	3.73±0.65	余裕を持ちすぎた	1.64±0.50	
判断を誤った	3.73±1.10	観客が気になった	1.73±0.65	
コースを狙いすぎた	3.73±1.19	適当に打った	1.82±0.87	
プレーの選択を迷った	3.55±0.93	コートサーフェス、照明、風などが気になった	1.91±0.83	
打つべきでないところで打ってしまった	3.55±1.29	ボールに注意を向けていなかった	2.09±1.14	

地域大会(n=11)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
コースを狙いすぎた	4.09±0.83	適当に打った	1.64±1.03	
打つべきでないところで打ってしまった	3.91±1.14	油断していた	1.91±1.14	
力が入り過ぎた	3.82±1.25	疲れていた	1.91±1.04	
判断を誤った	3.73±1.19	前のゲームポイントを引きずっていた	1.91±0.94	
焦っていた	3.64±1.29	イライラしていた	2.00±1.00	
		観客が気になった	2.00±1.00	

都道府県大会以下(n=52)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
コースを狙いすぎた	3.98±0.90	適当に打った	1.75±0.95	
構え(準備)が遅すぎた	3.71±0.87	余裕を持ちすぎた	1.65±0.87	
十分な体勢で打てなかった	3.69±0.90	コートサーフェス、照明、風などが気になった	2.00±1.07	
いつも入るボールが入らなくなった	3.69±1.13	油断していた	2.04±1.08	
緊張していた	3.69±1.16	観客が気になった	2.12±1.28	

表3は大学生の結果である。インカレ本戦レベル、地域学生本戦レベルの選手では上位4項目は同じであった。いずれも「コースを狙いすぎた」「攻め急いだ」といった、UEの具体的な状況を明確に理解している項目と技術的な問題と思われる「力が入り過ぎた」の項目で高い得点であった。予選レベルの選手では他の競技レベルと3項目は同じであったが、「打つべきでないところで打ってしまった」「手打ちになってしまった」といった、状況判断過程でのエラー、技術的な問題での項目で高い得点がみられた。

表3 競技レベルごとの質問項目得点(大学生)

インカレ本戦(n=58)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
コースを狙いすぎた	3.97±0.97	適当に打った	1.98±1.15	
攻め急いだ	3.72±1.01	持てる自傷がなかった	1.96±1.05	
力が入り過ぎた	3.72±1.04	観客が気になった	2.02±1.08	
コースを突くように思った	3.66±0.98	ボールに注意を向けていなかった	2.22±1.09	
構え(準備)が遅すぎた	3.57±1.08	油断していた	2.33±1.07	

地域学生本戦(n=77)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
コースを狙いすぎた	3.71±0.86	適当に打った	2.01±1.08	
攻め急いだ	3.62±0.86	余裕を持ちすぎた	2.13±0.94	
力が入り過ぎた	3.60±0.99	観客が気になった	2.16±1.06	
コースを変えようと思った	3.53±0.85	油断していた	2.25±1.17	
緊張していた	3.46±1.07	ボールに注意を向けていなかった	2.35±1.17	

予選(n=128)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
コースを狙いすぎた	3.75±1.06	余裕を持ちすぎた	2.05±0.94	
攻め急いだ	3.70±0.87	観客が気になった	2.06±1.01	
力が入り過ぎた	3.62±1.05	油断していた	2.07±0.88	
打つべきでないところで打ってしまった	3.56±1.03	適当に打った	2.06±1.17	
手打ちになってしまった	3.54±1.14	ボールに注意を向けていなかった	2.33±1.04	

結果

表2は高校生の結果である。全国大会レベルの選手ではUEした具体的な状況を明確に理解している内容である「攻め急いだ」「判断を迷った」「コースを狙い過ぎた」といった項目で得点が高かった。

地域大会レベルの選手では、ほぼ全国レベルと同じであるが「焦っていた」といった項目で高い得点がみられた。

都道府県大会以下のレベルの選手では「準備が遅すぎた」「十分な体勢で打てなかった」といった技術的な問題や「緊張していた」といった心理的な問題の項目で得点が高かった。

まとめ

競技レベルにおいてUEの原因には大きな違いはみられなかったが、競技レベルの高い選手では「狙いすぎた」「攻め急いだ」といったUEした具体的な状況を明確に理解しているが、低い選手では「緊張していた」「焦っていた」といった具体的な状況が明確でないことや技術的な問題での原因がみられた。指導者では競技レベルの高い選手では状況判断過程での、低い選手では、技術的な問題でのUEが多いと感じている。今後の課題として、UEの原因の構造を明らかにし、練習や指導において貴重な情報を提供していきたい。

表4は指導者の結果である。

指導者はどの競技レベルに対しても「十分な体勢で打てていなかった」という項目で高い得点がみられた。

全日本出場レベル選手に対しては、「攻め急いだ」「いつも入るボールが入らなくなった」といったできていると思われるプレーができていないといった項目で、インカレ・インターハイレベルの選手に対しては、「力が入りすぎた」「コースを狙いすぎた」といった余裕のあるプレーで、地域大会以下レベルの選手に対しては、「足が間に合わなかった」「構えが遅すぎた」といった技術的な問題の項目で高い得点であった。

表4 競技レベルごとの質問項目得点(指導者)

全日本選手権出場(n=7)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
攻め急いだ	3.71±0.76	観客が気になった	1.29±0.49	
いつも入るボールが入らなくなった	3.71±1.50	打点が前進した	1.29±0.49	
プレーの選択を迷った	3.57±1.15	ボールに注意を向けていなかった	1.43±0.53	
コースを狙いすぎた	3.43±1.13	作戦を立てていなかった	1.42±0.53	
十分な体勢で打てなかった	3.43±1.40	コートサーフェス、照明、風などが気になった	1.57±0.53	

インカレ・インターハイ(n=22)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
力が入りすぎた	3.77±0.75	観客が気になった	1.73±1.03	
コースを狙いすぎた	3.77±1.15	打点が前進した	2.00±0.93	
焦っていた	3.59±0.91	コートサーフェス、照明、風などが気になった	2.14±1.04	
十分な体勢で打てなかった	3.59±0.96	余裕を持ちすぎた	2.36±1.14	
攻め急いだ	3.55±0.74	先のこと考えすぎた	2.46±1.14	

地域大会以下(n=14)				
得点の高かった項目		得点の低かった項目		
項目内容	得点±SD	項目内容	得点±SD	項目内容
十分な体勢で打てなかった	4.14±1.10	観客が気になった	1.64±1.15	
足が間に合わなかった	4.07±0.83	コートサーフェス、照明、風などが気になった	1.86±1.17	
力が入り過ぎた	4.00±0.39	打点が前進した	2.00±1.04	
構え(準備)が遅すぎた	4.00±0.68	相手のことを考えすぎた	2.21±0.89	
観客が気になった	3.86±0.86	余裕を持ちすぎた	2.29±1.33	
コースを狙いすぎた	3.86±0.86			